

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和5年11月1日

事業所名 DYL株式会社 ドーユーラボひやごん

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4			利用定員と訓練室スペースは適切であると思う。	利用定員と訓練室等のスペースは適切であり、状況によっては机など移動などすることが可能です。
	2	職員の配置数は適切である	2	2		送迎に時間がかかってしまう事があり職員数が必要な時がある。円滑な送迎ができる様に下校時刻変動の情報を逃さない様にしている。	配置上は特に問題ではないが、利用児童のお迎え時間の変動などではなるべく児童を待たせないように最小限でお迎えができるように配慮している。あまりにも課題であるなら職員の増員も検討していきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	2		活動スペースはフラットで問題はない。トイレ入り口に少しの段差があるが、児童に必要ながあれば改善はできる。	施設内は基本フラット構造であるため、問題はない。トイレについては、車椅子での使用は厳しく少々狭い作りとなっている。児童の介助にはおこなうが、配慮としては適切ではないと思う。必要があれば手すりなどの設置を行ってきたい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	2	2		朝礼にて相談と共有を行っている。緊急があればその時点で相談を行う。その他会議の時間を設けている	朝礼にて毎回申し送りや前日で伝えきれなかったことをMTGとして共有している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4			アンケート調査結果を把握し話し合いの時間を設けている。	評価表については、HPでの公開や保護者それぞれに通知をし、業務改善に努めるようにしている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	1		ホームページにて公開。	HPにて公開している。また、保護者へ結果通知も行っている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	1		毎週カンファレンスにて情報を共有し改善に努めている。	毎週定期的に協力医療機関の精神科医とのカンファレンスを実地しているが、第三者による外部評価について業務改善ということまではできていないので、評価結果をもとに業務改善が行える外部の評価が行えるようにしていく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4			会社内で虐待防止委員会があり勉強会を設けている。外部機関にてトレーニングや研修への派遣があり受講している。	研修の案内があれば職員に通知を行っている。特に虐待防止の研修はすべての職員が参画できるように研修の機会を与えている。
適切な	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4			児童と保護者のニーズに沿った支援ができる様に話し合いを設け計画を行なっている。職員全員で検討し作成している。	本人のニーズや課題を分析し、今後も計画を立てていきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	2		児童の特性にあった支援ができる様に利用している。	標準化されたアセスメントツールを使用しているが、定期的に行っていないこともあるので、定期的に行えるようにしていきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	1		個人活動やドリル活動において、事業所内での共有やチーム内で話し合いを持ち日々実践している。	活動のプログラムについては、他事業所(同法人)の職員と合同で行なっており、グループのそれぞれの事業所から職員を配置しているので、プログラムの立案についてはそれぞれのチームで行っていきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	1	3		特性やニーズを考えつつ、内容を変えながらプログラム作成、成功体験を積み自信につながる様に支援しています。	なるべく児童が活動に参加できるように活動内容が固定されないように努めていきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	1	2	1	児童のニーズや調子等を把握しつつ、話し合いを持ちながら活動内容を変えている。特に長期休暇は感染状況を考慮しながら、外出支援・交流会を設け計画を行なっている。	長期休暇時には外出支援を行うなどの計画を立てているが、毎回ではないので、平日よりも事業所に多くいる長期休暇時には支援の課題を細やかに設定をして対応できるようにしていきます。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
支援の 提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4			オンラインでは3施設合同でドリルに取り組んでいる。 その他、必要に応じて個室を使用したり個々の調子や希望に沿った支援をしています。 児童によっては集団活動が苦手な児童もいるため、児童に応じた計画を作成するようにしている。	児童個々の状況に応じて計画を立てているが、集団活動自体に苦手意識を持っている児童も多いため、児童によっては考慮した計画で作成するようにしていきます。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	1			朝礼時間を利用したり、必要に応じて会議の時間を設けています。	毎朝、全体朝礼での報告と事業所内での報告を行ったり、必要に応じてMTGを行ったりしています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4			帰宅送迎からの戻りが遅い場合には翌朝共有する場合もあるが、日々振り返りを行い、気づきや反省はその都度共有をしています。	送迎の時間によっては、当日での振り返りができないこともありますが、翌日には振り返り共有などを行なっています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	1		毎日の記録を残し事業所内で共有をしています。	日々、記録の漏れがないように職員間でも把握をし、検証改善に繋げるようにしていきます。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3	1		モニタリングや計画の見直しの必要性は判断できるように日々の記録の目的などを適宜説明をしている。	今後も定期的なモニタリングや計画の見直しを行い、児発管だけでなく職員全員が必要性を判断できるようにしていきます。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	3	1		ガイドラインについては職員が把握できるように読み合わせを行なっている。	ガイドラインの基本活動をメインに児童の状況に応じた内容で支援を行なっていきます。	
関係機 関や保 護者との 連	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	1		基本的には児発管が参画している。	児発管だけではなく、児童に常に関わっている職員の参画もできるようにしていきます。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	1		3	学校お迎えの際に必要なに応じて先生との情報共有と学校アプリスクリーンからの確認を行う。 本人からの共有、保護者へはラインを使用して情報確認と調整を行なっています。 玄関お迎えの児童も多いので、学年便りを見に行くことで情報を得流ようにしている 学校の情報共有はなかなか行えていない。児童の学校での様子については、相談員との会議によって確認することが多い。	なるべく学校お迎え時には当日の様子など学校側と連絡調整ができるように学校にも協力依頼ができるようにしていきます。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		1		3	該当する児童がいない。	該当児童はいませんが、今後該当する児童がいましたら連絡体制を整えるようにしていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		1		3	該当する児童がいない。	該当児童はいませんが、今後該当する児童がいましたら相互理解のために関係機関との状況共有を行っていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		1		3	該当する児童がいない。	該当児童はいませんが、今後該当する時間がいましたら情報共有、提供を行うようにしていきます。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
連携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている			2	2	支援センターなどの専門機関と連携や助言、研修はないが、精神科医の先生とのカンファレンスは毎週行っている。	支援センター等との専門機関との連携はありませんが、協力医療機関の精神科医とのカンファレンスは毎週行っており、助言をいただいて業務改善に取り組んでいます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1		3		普段は公園活動で地域児童と交流を楽しむ事がある。夏休みには児童館の利用を行った感染状況も考慮しつつ交流を広げて行きたい。近所の公園で、地域の子供たちと遊ぶ機会はある	近くの公園で地域の子供たちとの交流はあつたりするが、引き続き交流が持てるような取り組みを考えていきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している			1	3	機会があれば参加していきたい。	協議会への参加はまだ行えていません。情報不足もあると思うので、情報を確認し、参加できるようにしていきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4				送迎時に会えた時や、ラインを使ってお伝えするようにしています。	児童の状況を把握できるようにLINEでお伝えをしたり、送迎時での引き渡しの際にお伝えすることもあります。些細なことでも共有できるように今後も行ってまいります。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている			3	1	ペアレント・トレーニングは行っていない。	ペアレント・トレーニングなどの支援は行っていない。職員自体もペアレント・トレーニング等も学んでいく必要があるため、研修などがあれば参加できるようにしていきます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4				契約時に説明を行っており、その後も気になる点があれば確認するように保護者へお伝えをしている。	契約時に説明をしており、気になる点については随時事業所へ連絡を入れるなどの対応を行なっています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	2		2		保護者の来所時や、その都度ラインを使用して共有を行ったりお話を相談がしやすうにお声かけをさせて頂いています。	保護者からのLINEや来所時にて相談を受けることはあり、助言や支援を行なっている。必要に応じて主治医へ相談を持ちかけられるようにお伝えしたり、相談支援専門員や関係機関と会議を持って対応することも行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1		1	2	コロナ禍で開催は控えていたが、これまでオンラインを利用して保護者会講演会などを行えるようにしていた、現在は直接連携が取れる支援の方法を考えています。	コロナ禍で開催自体は控えていました。感染状況を考慮し、オンラインでの開催なども視野に入れて保護者同士の連携が行えるように支援していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4				苦情がある際は職員全体で把握し状況の把握確認を行い保護者への共有と説明を行うようにしている。	苦情があった際には迅速に対応するように努めています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3		1		毎月ラポ便りを発行、その他必要に応じてラインにて発信をしています。	毎月便りを保護者の皆様へ配布しており、活動の様子や連絡事項など発信をしています。
	35	個人情報に十分注意している	4				事務所内にて施錠された棚にて保管。	個人情報には十分に注意して漏れないように unnecessary書類についてはシュレッダーなどで対応しております。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	2		2		直接お会いできる時は、保護者が話しやすいよう個室で対応したりラインや電話でも伝達が可能である事をお伝えしています。	必要に応じてLINEなどのツールを使って対応していきます。また、それ以外のツールでの対応も検討します。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			2	2	これから機会を設けていきたいです。	地域に開かれた事業運営はできていないので、今後行えるような取り組みを考えていきます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	2		施設内にAEDの設置や操作確認を行っている。感染症対策ではマニュアルを用意し共有を行い実施をしている。保護者へは詳しく周知が行えていない。	保護者への周知がうまくできていないので、保護者への通知方法などを考えて、周知できるようにしていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	1		災害に備え話し合う時間を設けている。昨年は児童と避難訓練を実施したが今年はまだ行えていない。	通所児童のお迎え時間などから児童がいる時に行えていない。計画などは職員間にて行っているが実際訓練は行えていない状況であるので、児童も含めて訓練ができるように計画を立てていきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4			外部の研修会へ参加、社内でも虐待防止委員会があり全体で勉強会を設けています。	研修についてはすべての職員が参加できる機会を設けています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	2		該当する児童はいない。	該当する児童はいませんが、該当する児童の通所があった際にはしっかりと検討、保護者への説明を行った上で計画に盛り込みたいと思います。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	1	1	医師の指示書はないが保護者からの情報があり、おやつを提供する際は気をつけて対応を行なっている	食物アレルギーの児童は数名いますが、医師の指示書まではいただけてないです。アレルギーのある児童については医師の指示書があれば情報提供していただけるように保護者へ改めてお伝えしていきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4			事業所内で話し合いを設け、全職員も閲覧できる様にしている。	ヒヤリハットについては些細なことでも記録として残しておくように全職員にて周知作成を行っています。